

第1章 章末問題 (p.20~21)

1 (1), (2), (3), (5), (7)

2 (1)② (2)① (3)③ (4)① (5)① (6)①
(7)③ (8)②

【解説】

(8)コンテンツを発信する「Webサイト」はマスメディアになるが、「インターネット」は通信のための基盤なので通信メディアと考えるとよい。

3 (1)0 (2)101 (3)12 (4)10000 (5)10

4 (1)黄 (2)色の3原色 (3)青 (4)黒

5 (1)4 (2)1 (3)41 (4)0011 (5)1000
(6)00111000

6 (1) $1024 \times 768 \times 24 \div 8 \div 1024 \div 1024 = 2.25$ (MB)

(2) $48000 \times 16 \times 2 \div 8 \div 1024 = 187.5$ (KB)

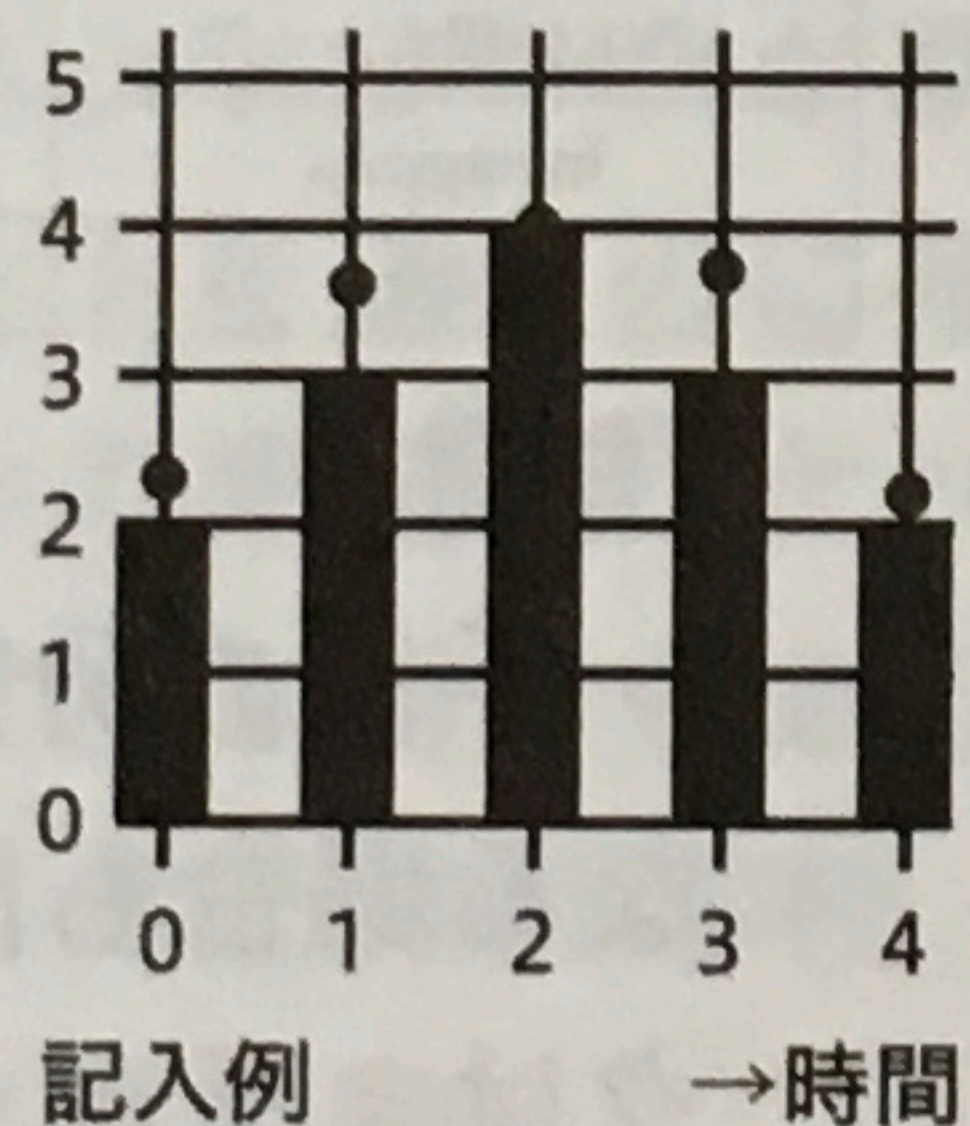
(3) $1024 \times 768 \times 24 \times 30 \times 2 \div 8 \div 1024 \div 1024$

$= 135$ MB

7 (1)① 4 ② 3 ③ 2

(2)右図

(3) $4 \div 0.001$ (秒) = 4000 Hz



●実習問題 (p.22~23)

1 略

【解説】

イラストは、ペイントソフトを使用して描くとよい。描いたイラストは必要な部分のみ範囲指定してコピーし、ワードプロセッサに貼りつける。貼りつけたイラストは、ワードプロセッサ上で拡大、縮小が簡単にできる。地図は、図形描画機能を組みあわせて作成する方法もある。

列や行数が不揃いな表をつくる場合は、まずすべての列と行数を設定してからセルの結合や分割をしてつくるようにするとよい。

文章の途中に、囲み記事や縦書きの記事を入れたい場合は、テキストボックス(横書きと縦書きがある)を使用する。

ドロップキャップは、長い文章の最初の1文字を大きくしたり飾り文字にしてアクセントをつける方法である。日本語での使用は少ないが、英語

圏の本などでは一般的である。

2 略

【解説】

ワードプロセッサでの作成手順

①Webページで使用する画像を作成する。ペイントソフトで描いたり、デジタルカメラで撮影したりしたものを、ワードプロセッサに挿入する。

②ワードプロセッサで、画像や文章をWebページのように配置して、ファイル名を「原案」として保存する。このとき、「ファイルの種類」は、「Word文書」としておく。

③保存できたら、つづけて「名前を付けて保存」で「ファイルの種類」を「Webページ(フィルター後)(*.htm;*.html)」、ファイル名を「page1.htm」にして保存する。

④保存したファイル「page1.htm」を、ブラウザで開き表示してみよう。

⑤作成したWebページを修正するときは、「原案」を開いて修正し、修正したら「上書き保存」する。つづけて「名前を付けて保存」で「ファイルの種類」を「Webページ(フィルター後)(*.htm;*.html)」、ファイル名を「page1.htm」にして保存する。

リンクを設定するときの手順

①リンク先に使う画像ファイルを準備する。

②リンクにするための文字列を入力する。入力した文字列を選択し、右クリックで「ハイパーリンク(H)」、「ファイル、Webページ(X)」と進み、準備した画像ファイルを指定する。

③保存し、Webブラウザで表示する。